

経営比較分析表（令和6年度決算）

大阪府 高槻市

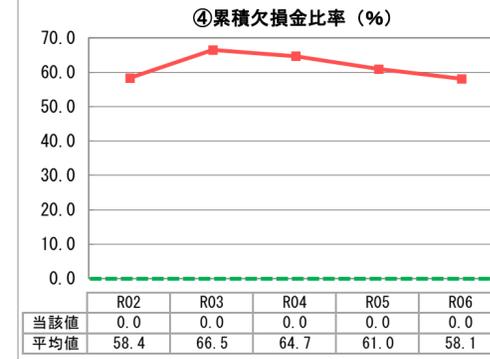
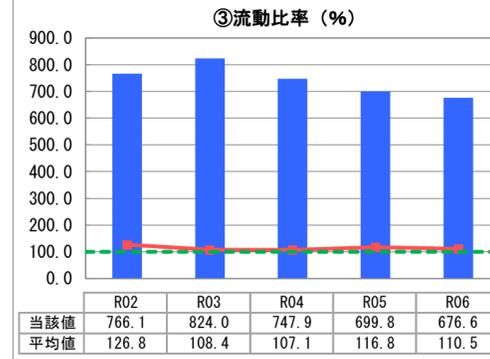
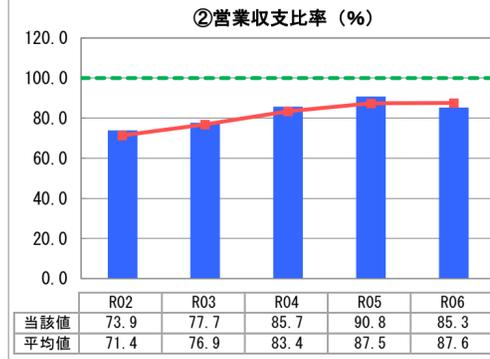
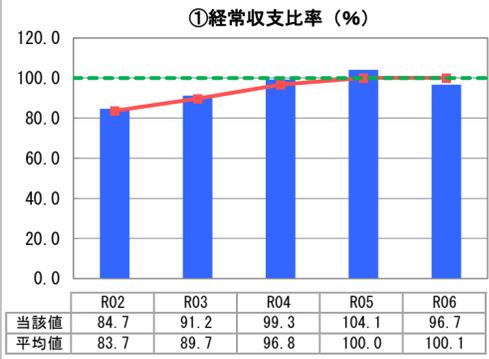
業務名	業種名	事業名	管理者の情報
法適用	交通事業	自動車運送事業	自治体職員
資金不足比率（％）	営業路線（km）	年間走行キロ（千km）	在籍車両数（両）
-	128.2	3,892	165
職員数（人）	管理の委託割合（％）	民間事業者の有無	地域公共交通計画策定の有無
296	-	有	無

	R02	R03	R04	R05	R06
年間輸送人員（千人）	14,034	14,625	16,426	17,277	17,560
他会計負担額（千円）	327,160	412,879	404,147	359,574	356,352

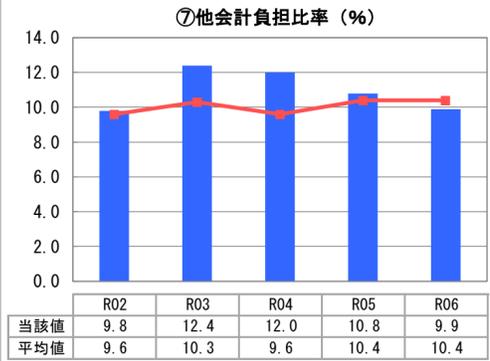
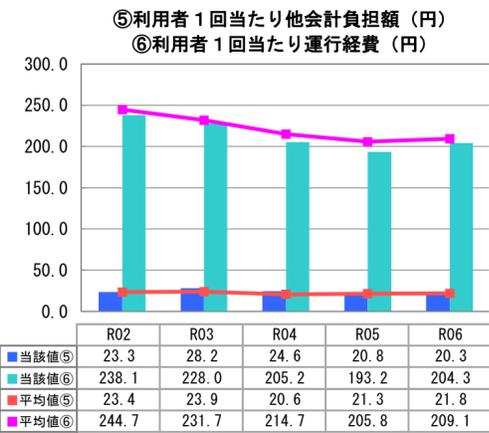
※民間事業者の有無とは、行政区域内で民間バス事業者が運行しているかどうかを指す。

1. 経営の健全性

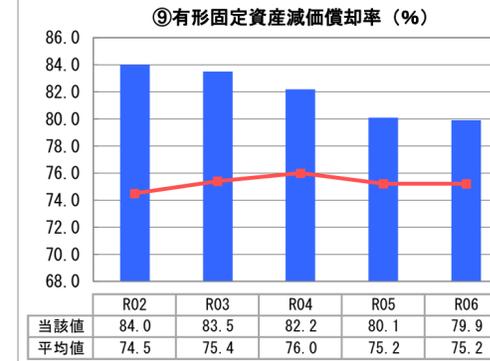
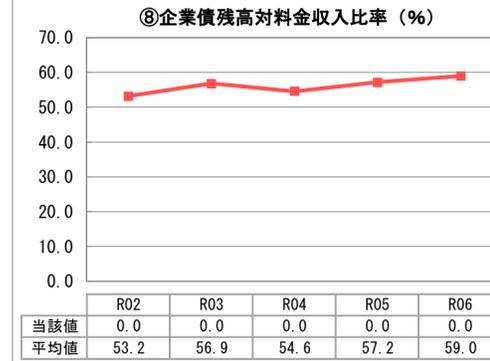
○事業の状況



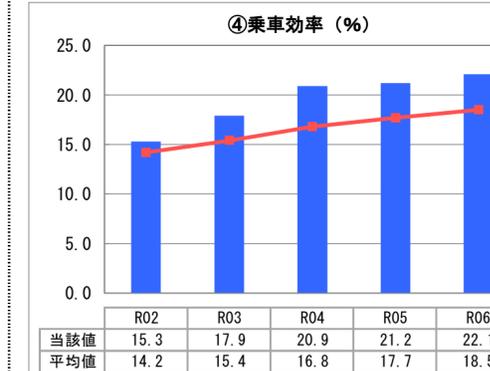
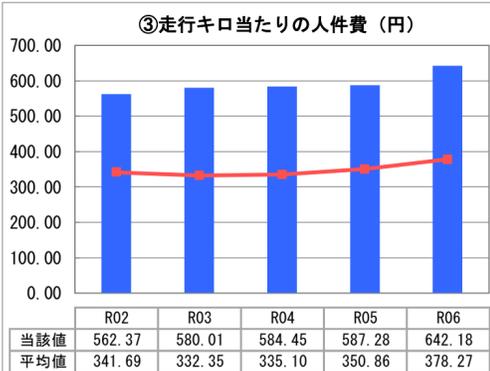
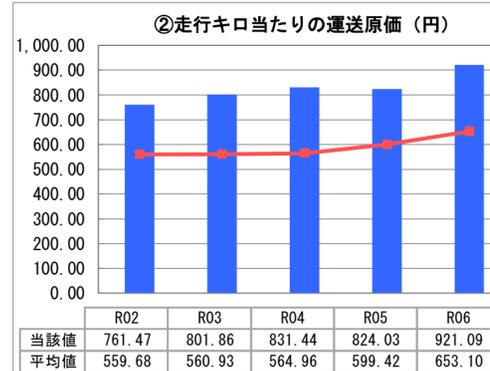
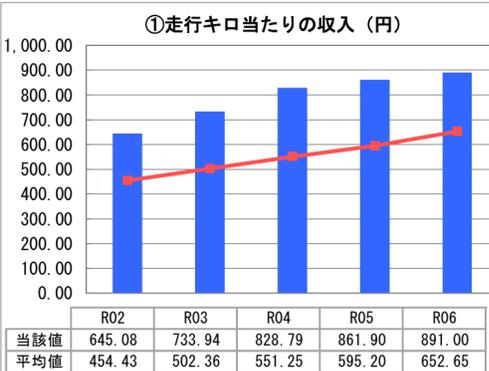
○独立採算の状況



○資産及び負債の状況



2. 経営の効率性



※民間事業者平均値は当該団体が所属する標準原価ブロックの民間平均値

分析欄

1. 経営の健全性について

経常収支及び営業収支比率は人件費の高騰や物価高の影響で公営企業平均値を下回ったが、それ以外では概ね良好な数値となっている。特に流動比率では、100%以上であることが必要とされている中で本市は大きく上回っている。
また累積欠損金や企業債も無く、経営状況は非常に健全である。

2. 経営の効率性について

走行キロ当たりの運送原価及び人件費が民間事業者平均値に比べて本市は大きく上回っている。
運送原価が高い原因については、本市は通勤通学の時間帯に乗客数が集中し、住宅地と鉄道駅間の輸送が主なものとなっており、輸送効率の観点から一方を回送としているためである。また、人件費が高い原因についても、他事業者では、路線運行を外部委託し「経費」として計上するが、本市は全て直営で「人件費」として計上しているためである。

全体総括

全体においては、累積欠損金や企業債も無く、流動比率についても非常に良好な水準で経営状態は健全である。
しかし、今後も社会情勢に起因した各種単価の高騰や車両更新も続くことに加え、各比率も悪化することが懸念されている。
今後はバス運行の効率化による経費の抑制を継続し、車両や各保有施設を利用した広告収入等の増収にも取り組み、収支改善を目指していくものである。